

平成30年度終了

本日をもって、平成30年度は終了です。30日と31日はありますが、校長便りは、次なる年度から再開します。

1 センター試験の過去問を研究しました。

- ① 古文・漢文は、過去問を解き進めると、古文においては重要語句や、文法の基礎事項と、物語を読むときの人間関係を敬語で見極めることなどにより和訳できて心情を理解するという授業中心の積み重ねが大切であり、漢文においては、重要語句と句法を中心に、書き下して和訳できる力とその逸話が何を言うためのものかという、授業中心の積み重ねが大切であることがわかります。
- ② 現代文の評論は、全体の要約力と言い返される表現にポイントを置いた論理の展開の構造の把握と、短時間で量のある文章を読む力が大切であることから、日頃からの読書習慣とまとめる表現力が重要です。
小説においては、心理描写の背景の把握と内面の変化と、登場人物の行動や発言がどのように関連していくかを人間心理として理解する力が求められます。
- ③ センター試験はそこに必ず正解があり、正解が作られたのちに、選択肢としてその正解の選択肢を紛らわせる誤答が作られるので、その流れを見極めれば、難しいとは思いません。文章と選択肢の中から素早く情報を取捨選択できるかがかぎです。

2 東大の問題を研究しています。

- ① 古文漢文は、センターと同様に短い時間で和訳し、全体の意味を捉える力とコンパクトに上手に表現する力が求められます。日頃からの短いセンテンスでズバリ核心を捉えて書く力をつけていく必要があります。
- ② 現代文は、読解力とともに、日ごろからの現代文にかかわる知識教養が必要であることがわかります。単なる言いかえで表現するのではなく、豊富な語彙力によって端的に説明できる表現力が求められます。
- ③ だらだらと説明するよりも、採点者が、こんなに端的に言い換えられるのだなと唸るような表現が大切です。本質をとらえているなど感じさせる力、同時に感性豊かな柔らかさや簡明さが求められます。

ということをふくめて、過去問の研究が大切ですね。

ゴールデンウィークあたりに学習会でもやりましょうね。

まずは、元気に4月8日に会いましょう。